

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



154号

2013年12月9日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 常盤台は狭小住宅地？ 外部不動産業者のひどい細分化

このところ、住宅街では世代交替のたびに土地の細分化が行われ、環境を維持する緑化のための1本の樹さえ満足に植えられないような家が増えてきました。

常盤台景観ガイドラインは何とかこれ以上の環境悪化を食い止めるため、しゃれ街協議会が施主や業者と話し合いを続ける仕組みになっています。

地元で営業する不動産業者は、常盤台の歴史や価値を認識していますし、評判も気にしているのでひどいことはしません。しかし、外部の業者や住民でない施主の場合、常盤台の歴史や住民感情など一切考慮せず、ただ高く売れば良い、安く手に入れば良いという目先だけの利を求めて売買してしまいます。

50㎡で建つ家とは！ 駆け込み違法分割か

1丁目のロードベイ近くのあるお宅が売りに出され、地元外の業者が手に入れました。

業者の計画はなんと50㎡で既存の土地を8分割して建売しようと言うものです。ガイドラインで決めている123㎡はおろか、これから板橋区全体で決めようとしている最低敷地面積80㎡にも満たないお粗末さです。50㎡で建つ家では、それでも常盤台に住んでいるという誇りや満足感を得られるでしょうか。

常盤台の環境の良さを売り物にし、また求めているのなら、その良さを保全していく努力が必要で、狭小住宅密集地となってしまえば何の価値もなくなります。

もしやむを得ず土地を手放さねばならない場合、この街のことも考えて、どんな業者を選ぶか、慎重にお考え下さい。

○ 第3回住民懇談会 — 10月31日常盤台集会所 —

1ヶ月半も前のことになってしまったが、板橋区主催の住民懇談会が10月末に行われた。住民の出席者19名。

今回は地権者の利益のみ守ろうとする一方的な発言で話し合いにならなかった懇談会であったが、今回は逆に規制が緩すぎれば目的とする街の保全は図れないという意見が強く、これでは不十分だけれども板橋区の景観重点地区の指定はこれから重要と思われるので、計画を進めてほしいと言う要望が通った。対立している意見の調整はまだまだ必要だが、一応の進展を見た。

○ 最高限度高度地区と 最小敷地面積について

— 11月14日都市建設委員会傍聴 —

守る会の陳情がかかっている都市建設委員会はなかなか興味深い。他の陳情も参考になる。

景観形成重点地区に向けての動きは26年運用開始を目指している、最高限度高度地区関係は見直しを検討中、まちづくり運動への援助はコンサルタント派遣事業などの助成制度を考えている、と言う区の答弁である。

訂正

常盤台公園脇の新興宗教団体「顕正会」に九月、警察の捜査があった記事で、「顕彰会」という誤まった表記をしてしまいました。どこからも指摘があったわけではありませんが、訂正してお詫びします。

カルガモの話 続々編

— 野生か保護か —

平和公園での会話

「あつ、こら、エサをあげてはいけないって書いてあるだろう。立て札の字が読めないのかっ」

「だって、何も食べるものがないじゃない？。親が木の間を歩かせてセミの死んだのを食べさせていたから大丈夫。セミやカナブンの死骸を放つてやると、喜んで食べているでしょ」

「なに言ってるんだ。この池に居ついちゃったらどうするんだ」

「そんなに怒るもんじゃあない。栄養不足で翼が生え揃わなかったら、それこそ外に飛んでいけないよ」

「俺なんかちっちゃい時分から粟やひえをこっそりやってましたよ。内緒だけど」

「ああ、そうだったんですか。そうでなければこんなコンクリートの水草もないところであんなに立派に育つわけがないですね」

「当たり前でしょ。野生のものを餌付けしちやいけないのは原則として分かるけど、飢え死にするのを見殺しにできませんかね？」

と、侃々諤々（かんかんがくがく）でした。今、八羽（十羽のうち二羽死亡）の子鴨は、

見次公園の池との間を行き来しています。日によっては一羽もいなかったり、他の鴨も混ざって二〇羽近くいたりしています。親や他の鴨との見分けも全く付かなくなりました。

緑と公園課はひたすらそっとしておいてほしい、と言っていますが、どうするのが一番よいのでしょうか。なかなか難しい問題です。

「俺々サギ」電話は

かかってきましたか？

世間では何億という被害が出ている「俺々詐欺」の電話はかかってきたでしょうか。

振り込めサギとか母さん何とか詐欺とか、いろいろ名称に苦労しているようですが、親心などにつけこんで、判断力の鈍った高齢者からお金を巻き上げようという悪質なサギです。「還付金詐欺」という姑息な手もありました。

二丁目のIさんにかかってきた例をご紹介します。

普段、電話などかけて来ない息子から電話が来ました。声が違うので「いつもと声が違うわね」と言うと「かぜを引いているんだ」と言います。さりげない会話をして「明日またかけるよ」と切れました。ヘンだと思ったIさんは息子さんに確認、詐欺と分かって警察に通報しました。翌日刑事が二人来て、犯人逮捕に協力してほしいと言われたのですが、目の手術の予定が入っていたIさんは残念ながら辞退。やはり犯人から電話が来ました。なんと「俺、人妻を妊娠させちゃったんだよ。相手の夫から手術費や慰謝料で百五十万要求されている」と言う内容。Iさんの「嘘だわかってる。警察に届けたわよ」のひとことでガチャンと切れたそうです。

あの手この手であなたの老後の大切な資金を狙う人は多いのです。死に金にしないことも大事かもしれないですが、預金を引き出す時は本当に気をつけて！どんなに緊急な場合でも本人にしか渡さないようにしましょう。

常盤台公園のはなづくり

十一月初めにチューリップ類の球根や、ストック、パンジーなどを植えつけました。予定日は晴れのち雨の天気予報。九時から始めて十二時近くに終わりましたが、終わったとたん、ポツリポツリと降り始めました。お蔭で水遣りも楽に済むし、やはり日ごろの行いが良いから、と自画自賛で終わることができました。

マリーゴールドがまだ盛んに花をつけていたのが可哀想で、通りかかりの人にも持って行ってもらいました。

今年の苗は、なぜか土が乾いたままで、時間が経つにつれ、ストックなどは萎れてきたくらいでした。去年までの業者が代わったせいかもしれません。

しばらくは落ち葉掃きと花がら摘みが冬の作業になります。

Tさんが皇帝ダリアを植え替えてみました。Tさんは移植が上手なので、枯れたりすることはないので、今年は花芽を付けませんでした。夜の照明の当たらない所で皆さんの目に留まるような場所はないかなか無いものです。北側の斜面の吉祥草がハナニラに圧倒されてしまったので、ハナニラを取り除きましたが、その後もあまり元気がないようです。何が原因が分かりません。